

平成 30 年度

土木部の運営方針

<部の構成>

土木政策課、道路河川管理課、道路河川整備課、みち・みどり室、交通対策課、用地課

<担当事務>

- (1)道路及び交通に関すること。
- (2)公園及び緑化に関すること。
- (3)河川に関すること。
- (4)里山の保全及び振興に関すること。

<部の職員数>H30年4月1日現在

正職員	118名
再任用職員	15名
任期付職員	-名
非常勤職員	3名
合計	136名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

土木部では、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちをめざし、道路や公園、河川などの都市基盤整備を行うとともに、自転車の安全利用をはじめとする交通安全の啓発や、快適な生活空間を創造するためにみどりの保全や緑化の推進に取り組みます。

事業の実施にあたっては、その効果や緊急性などの優先度に、中長期的な視点も加え選択と集中を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら進めます。

平成 30 年度は、総合交通計画を策定し、実施に向け取り組むとともに、枚方市駅など市内主要駅周辺の交通環境の改善、通学路の安全対策や自転車通行空間の創出など安全・安心な交通環境の実現に向けた取り組みを進めます。

また、本市の交通体系の軸となる都市計画道路や公園といった都市基盤整備を着実に進めるほか、まちなか緑化やみどりの保全を推進できるよう、みどりのプラットホームづくりに取り組みます。

技能労務職員の適正配置に向けた取り組みについては、より効率的な業務遂行を行えるよう組織改革を進めます。

2. 重点施策・事業

(1) 枚方市総合交通計画の策定

方向性	本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策として、「枚方市総合交通計画」の策定及び実施に向けた取り組みを進めます。
取り組み	市民や各交通関係機関が参画する協議会を適宜開催し、必要となる施策や事業、また推進体制等について議論を行い、平成 30 年度中に計画を策定し、実施に向け取り組みます。
	平成 30 年度当初予算：6,734 千円（総合交通計画策定事業）

(2) 都市計画道路の整備

方向性	都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備に取り組みます。また、新名神高速道路やそのアクセス道路となる内里高野道線、淀川を渡る牧野高槻線等については、早期完成を大阪府や関係機関に働きかけます。
取り組み	本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路については、安全で円滑な交通環境の構築や緊急時の避難経路や輸送経路の強化を図るため、第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、また、通学路等の安全な歩行空間の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。
	平成30年度当初予算：1,973,341千円（都市計画道路整備事業）

(3) 市内主要駅周辺の交通環境の改善

方向性	市内主要駅（枚方市駅、御殿山駅、樟葉駅）周辺の交通混雑や公共交通の利用環境、また、安全・安心な歩行空間など、交通環境の改善に向け取り組みます。
取り組み	<p>枚方市駅周辺については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの将来像を見据え、（仮称）総合文化芸術センターの完成に併せ、歩道拡幅など歩行者動線の強化や駅高架下道路等を活用したバスを中心とする公共交通の環境改善、また、天野川に沿った外周道路の暫定整備など、交通環境の基盤整備を進めます。</p> <p>《枚方市駅周辺の交通に係る取り組み箇所図》</p>  <p>樟葉駅周辺については、引き続き、駅前ロータリーの交通環境の改善に向けた基本設計を進めます。また、御殿山駅周辺については、安全・安心な歩行空間の確保に向け、関係機関との協議や地域と協働・連携した取り組みを進めます。</p> <p>平成30年度当初予算：82,400千円（枚方市駅周辺再整備事業）、12,864千円（樟葉駅前ロータリー渋滞解消計画策定・推進事業）、15,000千円（調査・検討業務委託料）</p>

(4) 安全・安心で快適な交通環境の創出

方向性	安全・安心で快適な交通環境の創出を図るため、通学路の安全対策や安全な歩行空間、また、自転車通行空間の創出に向け取り組みます。
取り組み	通学路等の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、新たに ETC2.0 のビックデータを活用し、さらなる対策強化を図るとともに、第一藤阪踏切や磯島第 4 号線の歩道整備や御殿山駅周辺のバリアフリー化工事を進めます。長尾船橋線など、段差が大きい歩道については、改良に向けた検討、整備を進めるとともに、「枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」に基づき、安全で快適な歩行空間及び自転車通行空間の確保に向けた整備を進めます。また、交通安全の向上を図るため、春日大峯線の交差点改良に向けた詳細設計に着手します。
	平成 30 年度当初予算：10,000 千円（踏切道交通安全対策事業）、20,000 千円（交通バリアフリー道路整備事業）、44,000 千円（磯島第 4 号線他歩道整備事業）、36,000 千円（春日大峯線道路拡幅事業）、30,000 千円（中宮区第 33 号線他歩道フラット化整備事業）、57,000 千円（自転車通行空間整備事業）、43,402 千円（長尾船橋線道路空間再配分事業）、50,000 千円（交通安全施設緊急整備工事費）

(5) 安全な交通社会の実現

方向性	市民に交通安全思想の普及、浸透を図り、交通事故を減少させることで、安全な交通社会の実現に向け取り組みます。
取り組み	子どもたちの交通事故防止を図るため、引き続き、全小学校において民間活力を活用しながら交通安全教室を実施し、中学校については、交通事故を再現することでより効果が見込まれるスケアードストレート方式の自転車交通安全教室を今後 3 年間で全中学校において実施します。また、高齢者を対象とした交通安全教室を、引き続き試行的に実施します。
	《目標値》 交通安全教室：小学校 45 校で実施 スケアードストレート方式の自転車交通安全教室：中学校 6 校で実施
	平成 30 年度当初予算：9,731 千円（交通安全教室実施委託料）

(6) 道路・公園等の効率的・効果的な維持管理

方向性	道路・公園等施設の安全性と機能性を維持するため策定した長寿命化計画に基づき、計画的な改修・更新を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理を図ります。
取り組み	道路や公園などの機能や安全性を確保するため、橋梁・公園等施設の長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用しながら更新、改築等を行うとともに、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に各関係機関との連携や部内でも引き続き定期的なパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。また、安全な交通環境を確保するために、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、道路照明灯、

	<p>橋梁及びトンネルについても予防・保全の観点で点検を行います。さらに道路の舗装、橋梁など、道路施設全般において効率的・効果的で持続可能な維持管理を促進させるため橋梁や舗装など各施設の長寿命化計画を統括する道路長寿命化計画の策定に取り組みます。準用河川については、適切な維持管理に対応するための河川台帳整備を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>舗装長寿命化修繕計画位置付路線数：16 路線</p> <p>河川台帳整備延長：10,407m</p> <p>公園施設の更新、改築数：9 箇所</p>
	<p>平成 30 年度当初予算：91,500 千円（道路施設調査点検）、74,000 千円（橋梁修繕・補強事業）、110,000 千円（主要道路リフレッシュ整備事業）、18,000 千円（道路長寿命化計画事業）、9,177 千円（準用河川維持管理事業）、45,000 千円（公園施設長寿命化計画に基づく改築等事業経費）</p>

(7) 公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造	
目標	<p>日常生活の中で自然とふれあい、親しめる場を確保するため、公園、緑道など緑地整備を進めます。また、第 2 次里山保全基本計画やみどりの基本計画に基づき、多くのみどりを育み、人々がみどりとふれあうことのできるまちづくりを進めます。</p>
取り組み	<p>星ヶ丘公園については、自然環境を生かした開設エリアの拡大に向けて整備を進めます。香里ヶ丘中央公園については、香里ヶ丘地域の活性化につなげることを目的に、図書館の建て替えと合わせた一体的な公園整備を進めます。里山保全については、第 2 次里山保全基本計画に基づき、市民等による森林ボランティアや企業による環境貢献活動の支援や森林スペシャリスト育成講座を創設するなど、里山の活用を促進します。緑化推進については、まちなか緑化の推進や公園・緑地の利活用の促進を効率的、効果的に推進できるよう、市民や市民団体、事業者など多様な主体が連携し、自らのため楽しみながら活動する基盤となるみどりのプラットフォームづくりを進めます。また、桑ヶ谷公園に隣接する緑地において、UR 都市機構、市民団体と協働して子どもたちの冒険遊び場である「プレーパーク」の試行運営をスタートします。</p> <p>《目標値》</p> <p>公園整備面積：3,600 m²</p> <p>里山保全活動団体の活動延べ日数：270 日</p> <p>みどりのプラットフォームのメンバーに対する講座回数：6 回</p>
	<p>平成 30 年度当初予算：397,784 千円（公園整備）、1,647 千円（里山保全）、3,000 千円（みどりのプラットフォーム設置・運営）</p>

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	都市公園内のスポーツ施設（王仁公園、中の池公園、香里ヶ丘中央公園）については、民間参入を促すため利用料金制の導入を検討して指定管理者制度の更新を図るとともに、東部公園については、ナイター照明設置後の野球場やドッグランの利用状況を踏まえ、平成32年4月に指定管理者制度への移行をめざします。
44. 交通安全教室の委託化	枚方・交野両警察署と連携して取り組んでいる「交通安全教室」について、効率的・効果的な執行を図る観点から、引き続き、市立小学校（全45校）を対象に歩行・自転車交通安全教室を民間委託により実施します。また、保育所（園）、幼稚園、認定こども園についても民間委託による実施を検討します。
45-7. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（道路・河川・公園維持管理業務）	緊急時や災害時等における直営での業務執行体制を確保しつつ、民間活力の効果的な活用の検討を進めるとともに、より効率的な業務遂行が行えるよう、組織改革を進めます。
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と教育委員会が所管するスポーツ施設について、引き続き関係部署と協議し、料金体系の一元化など効率的・効果的な運営を図ります。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識の啓発を行います。
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業における安全対策の意識の啓発を行います。

4. 予算編成・執行

- ◆都市計画道路の整備、通学路の改良整備、主要道路リフレッシュ事業、道路・公園等施設の長寿命化計画に基づく更新、改築等については、国の交付金等を最大限に活用し、効率的に取り組みます。

	維持管理	建設事業	計
平成30年度 当初予算	13億4580万円	35億7760万円	49億2340万円

5. 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効率的・効果的に事務事業の執行を図ります。
- ◆災害時に万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。
- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。

6. 広報・情報発信

- ◆市民への周知や普及啓発などの情報を正確かつ効果的に発信するため、部内各課のホームページに掲載する内容を精査し、情報発信により一層の充実を図ります。また、メール等による通報や依頼に関する各課における業務の内容や対応方法等については、引き続き、効果的な手法を検討し、実施に向けた取り組みを進めます。
- ◆市民参加のイベント（緑化フェスティバル、菊花展、交通安全教室など）は、市民に参加を呼びかけるため、多数の機関にチラシの配布やポスター掲示などの協力を求めるとともに、フェイスブック、ツイッターなどの情報発信に努めます。また、試行実施するプレーパークの取り組みについても広く市民へ情報発信を行います。
- ◆体験型のイベント（小菊栽培等の講習会、里山講座、里山ウォーキング）を通じ、取り組みや活動内容を身近に感じてもらい、みどりや里山に関する意識の向上に努めます。
- ◆高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、高齢者に向けた交通安全講習会の実施について、広く市民へ広報を行います。
- ◆持続可能な交通を実現するため、市民や事業者とともに、公共交通の利用促進に向けた啓発に努めます。
- ◆土砂災害特別警戒区域に指定された区域内の建築物の移転や補強に対し国や大阪府と連携して支援を行う補助制度について、指定区域の周知と併せて情報発信に努めます。

